平成 24 年 4 月 3 日

都道府県不動産鑑定士協会会長各位

公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会
会長　緒　方　瑞　穂

新スキーム改善のための士協会会長調整会議について

拝啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申しあげます。

さて、ご案内のとおり 4 月 9 日に標題会議を開催いたしますが、今回の士協会会長調整会議は、新スキームの改善に当たり各士協会の意向を踏まえ、翌 10 日の業務執行理事会に事業計画及び予算を上程するために開催するものです。

新スキームの改善についてこの１年間検討協議をしてきました。第一次改善案は日本不動産鑑定士協会連合会に属する不動産鑑定士が将来にわたって新スキームの取引事例を利用するための整理に向けた第一次ステップです。

不動産鑑定業将来ビジョンに示したとおり、鑑定業界の置かれた昨今の状況から、取引事例の安全管理と透明性の確保は緊急に実現しなければならない重要課題です。もし、今、この改善のステップを踏めないとすれば、新スキームを鑑定士協会が実施すること及び公的評価・一般鑑定評価に活用することが出来なくなる恐れがあります。かかる事態は絶対に回避しなければなりません。

もとより、士協会会長におかれましては、各士協会の財政状況、固定資産評価業務等への影響、会員への説明等について心配されていることは十分承知しております。

各士協会の財政状況や固定資産評価等のことについて、出来る限りの配慮をしながら新スキームの改善を進めていきます。

また、殆どの士協会から要望のあった他士協会会員への閲覧提供は、士協会の意思を尊重し、当該士協会の事務所としています。

なお、これまでの質問や意見について、別紙のとおり新スキームＱ＆Ａを取りまとめました。士協会会長調整会議の参考資料として、また士協会での説明や、会員からの問い合わせへの回答の際にご利用ください。

是非とも第一次改善案を承認していただきたく、皆様方のご協力をお願い申しあげます。

敬具